

平成31年度予算見積調書

課室名：情報システム課

担当名：企画・支援担当

内線：2280

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B22	スマート社会へ向けたAI事業費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	情報政策推進費		
事業期間	平成30年度～	根拠法令	なし				宣言項目			
							分野施策	061351 ICTを活用した県民の利便性の向上		
1 事業概要 スマート社会に向けて県民サービスの向上や業務の効率化、産業振興を図るための事業を実施する。				5 事業説明						
(1) データ活用事業 9,485千円				(1) 事業内容						
(2) ヘルプデスクAI事業 15,623千円				ア データ活用事業 9,485千円						
(3) オープンデータ化推進事業 13,280千円				イ ヘルプデスクAI事業 15,623千円						
(4) 県民向け問合せAI構築事業 84,118千円				(ア) AIサービス運用 2,093千円						
				(イ) 業務追加 13,530千円						
				ウ オープンデータ化推進事業 13,280千円						
				エ 県民向け問合せAI構築事業 84,118千円						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				(2) 事業計画						
				ア データ活用支援事業						
				・県民・民間事業者のニーズの高い情報についてオープンデータ化を推進する。						
				・各種統計資料や各種台帳、事務処理手引の情報の電子データ化支援を行う。						
				イ ヘルプデスクAI事業						
				職員向けの業務システム等の問合せ窓口であるヘルプデスクAIを運用、業務拡大を行う。						
				ウ オープンデータ化推進事業						
				カタログシステムの運用、システムの利便性の向上に対応する。また、活用事例の開拓を行う。						
				エ 県民向け問合せAI構築事業						
				利用者がパソコンやスマホ、タブレットから県のサイトにアクセスして、質問を入力すると、AIが適した回答を返すシステムを構築する。						
3 地方財政措置の状況 なし				(3) 事業効果						
				ア 庁内の様々な分野でAI・データを活用した事業化が進み、業務の効率化や県民サービスの向上、産業振興が図られる。						
				イ 電話対応の対象外であった時間帯にも対応可能となるほか、繁忙期にもつながりやすくなり、利便性の向上が図られる。						
				ウ 情報を二次利用しやすい形式で公開することで、地域経済活性化、県民の利便性向上が図られる。						
				エ 時間を気にせずいつでも対応できる窓口を設置し、スマホ・タブレットなど利用者が使いやすい環境から、問合せできるようになる。						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.6人=24,700千円										
				財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比	
予算額										
決定額	122,506								122,506	75,921
前年額	46,585								46,585	